

平成26年度徳島大学学長表彰授与式を行いました



3月10日、徳島大学新蔵事務局において、平成26年度徳島大学学長表彰授与式を挙りました。

徳島大学学長表彰は、学業成績、研究、課外活動及び社会活動

において、優秀な成績又は成果を修めた学生又は高い評価を受けた学生や団体を表彰するものです。当日は、受賞した41名の学生と7つの団体の代表者のうち、28名が授与式に出席し、香川学長から一人一人に表彰状と副賞が授与されました。授与後、香川学長からは「これからもより一層の研鑽を続けられることを期待します」との励ましの言葉がありました。

医学部白衣授与・Student Doctor認定授与式を行いました

3月13日、大塚講堂にて、医学部白衣授与・Student Doctor認定授与式を行いました。本授与式は、約1年間の病院での臨床実習を行う医学部医学科生に、医療の現場に入る自覚を持つてもらおうと、医学部と病院が臨床実習を

支援することを目的として行われています。今回の授与式では、116人の学生に白衣とStudent Doctor認定証が授与されました。授与式では、苛原医学部長から「メディカルスタッフとのチームワークを大切にし、医師としての自覚を持って実習に励んでください」との励ましの言葉がありました。



した。安井病院長からは、医療人としての心構えについてお言葉をいただきました。学生を代表して北橋力さんが宣誓を行い、坂東美咲さんが代表で医学部長から認定証と白衣を授与されました。その後、すべての学生一人ひとりに苛原医学部長から認定証が授与され、併せて白衣も手渡されました。

全国「道の駅」と連携協定を締結しました

全国「道の駅」連絡会と徳島大学は、全国各地の「道の駅」を舞台に学生の就労体験型実習（インターンシップ）を行うことで合意し、3月9日、徳島大学事務局において、基本協定を締結しました。同協定の締結は四国では初となります。

同協定締結式には、全国「道の

駅」連絡会から四国地区「道の駅」連絡会副会長の岩浅嘉仁阿南市長、徳島大学から香川征学長らが出席し、協定を締結しました。同協定を利用して、平成28年度新設予定の新学部「生物資源産業学部（仮称）」の学生を中心に派遣し、インターンシップの場として活用する予定です。また、将来の地域活性化の担い手となる人材の育成になるものと期待しています。



平成26年度徳島大学卒業式・修了式を挙りました

3月23日、アステイとくしまで平成26年度卒業式・修了式を挙りました、合計1,686名(学部卒業生1,204名、大学院修士(博士前

期)課程436名、大学院博士(博士後期)課程46名)の卒業生及び修了生に、香川学長から学位記が授与されました。

香川学長からは「これからも学ぶことを続けてください。徳島大学で学んだことを基礎にして、地域で、日本で、そして世界でご活躍されることを祈念します」との激励の言葉がありました。卒業生・修了生総代として、工学部の頼苑(ライユアンシャン)さんからは「先輩が残した功績を忘れず、これからの社会に貢献できるように人間を目指していきたいと思えます」と答辞がありました。



平成27年度徳島大学入学式を挙りました

4月6日、アステイとくしまで平成27年度入学式を挙り、合



計1,965名(学部1,326名、大学院修士(博士前期)課程488名、大学院博士(博士後期)課程106名、3年次編入学45名)の入学が許可されました。

入学式では、入学生を代表し、歯学部柴垣あかりさんから「本学の教育方針に従って学則をまもり、学術の研究と人格の陶冶に努めることを誓います」と宣誓があり、引き続き、在学生を代表して、総合科学部武知美波さんから「今すべきことをしっかりと考えながら、日々を大切に、そして挑戦することを忘れず過ごして下さい」

と歓迎の言葉がありました。その後、香川学長から「問題の本質を見極めることができるよう教養を会得され、自分を見失うことなく有意義で楽しい学生生活を過ごされることを願っています」とのお祝いの言葉がありました。

山中伸一文部科学事務次官が本学を視察されました

5月18日、山中伸一文部科学事務次官が来学され、学内研究施設や本学の先端的な研究について視察されました。

学長から大学改革の取組状況について説明、理事を交えて懇談の後、常三島キャンパスにおいて、本学卒業生でノーベル物理学賞を受賞した中村博士に関連するLED開発に関わる装置について、続いて南海トラフ巨大地震を想定して災害情報を仮想的に体験することができる津波浸水震度仮想体験装置について説明を受けられ、山中事務次官は熱心に聞き入っておられました。

蔵本キャンパスでは、全国共同利用・共同研究「酵素学研究拠点」である疾患酵素学研究センターなどの研究内容等について、続いて高度医療技術の修練や先進医療の研究開発に対応できる西日本で唯

一の施設であるクリニカルアナトミー教育・研究センターの各装置や教育研究内容について説明を受けられ、その後9月に開院予定の新外来棟各階を視察されました。



◇叙勲
平成27年春の生存者叙勲を次の方が受章されました。
瑞宝双光章 加地博
元徳島大学歯学部事務部長
文部行政事務功勞

読者の言葉

●保護者が目をおす事も確かに大事かもしれませんが、学生が読むべき内容だと思えます。学生達は、この内容を読んでいるのでしょうか。
●徳大広報、ずっと読んでいたんですけど、普通なら来年度は卒業!?唯一の学校つながりでした!いろいろアドバイスをありがとうございます。

【回答】

ご意見どうもありがとうございます。今回は2通のご意見に答えさせていただきます。『とくしま』は発行して数日後には大学内の各所に置かれていて、自由に持ち帰れるようになっていきます。学生にも読んでほしいのご意見ですが、講義やガイダンス等を通じて学生にアピールしていきたいと考えております。また『とくしま』は徳島大学のホームページを通してバックナンバーが読めるようになっていきます。お子様の卒業後はこちらをご利用ください幸いです。

http://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk.html